

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

# JAPAN NOW

## 観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第69号 発行日2010年1月25日

### Contents

JN協会	1
新年のご挨拶	2
霞が関ニュース	3
アメリカこぼれ話	4
世界遺産物語 コラム	5
城下町と観光、NEW SPOT	6
NPOからの提案、イタリア通信	7
お天気の話、編集後記	8



富士山を背景に疾走する東海道新幹線。

### JN協会創立10周年に当たり

#### JN協会 理事長 松尾道彦



会員の皆様、平成22年明けましておめでとうございます。日本海や北海道地区では大雪のお正月を迎えられたことと思いますが、関東地区では快晴に恵まれた年明けでした。

本年はJN協会発足10周年を迎え、これも会員を始め関係者のご支援の賜ものと感謝しています。これまで政治、経済、社会情勢各般にわたっておおきな変革の波がありましたが、当協会はなんとか流れに乗って一つの時代を歩んできました。

この10年、丁度「観光」に対する国民の意識が高まり、国全体としても国際交流、地域振興、都市再生などの観点から重点政策の実現へと米大統領も力強く決意を表明されたところであり、「観光」こそ平和を基として、世界をつなぐ最も力強い政策手段であります。まだまだ続くものと思われる経済不況の中で、ともすると沈みがちな人の心を大切に、人のせいにするのではなく、調和のある社会の実現に向けて人と人との出会いの縁を深めて、明日に向かって頑張っていきたいものと思います。会員の皆様にとって本年が良い年となるよう祈念いたします。

### 中部や関西・九州・四国・中国で提携 西日本連絡会が発足し広域観光振興へ

日本観光協会中部支部（支部長・須田寛 JR東海相談役、JN協会副理事長）、中部広域観光推進協

議会は昨年12月9日、九州、四国、関西、中国地域の観光推進団体と提携して西日本全体の観光振興を進める「西日本広域観光連絡会」を発足させた。初の連絡会は15日名古屋市で開き、各地域の担当者、経済連合会や中部地域の行政関係者が出席し、国内や外国人観光客への対応策、各地域が連携して観光モデルコースの新設、今年5月開幕する上海万博に伴うアジア地域での観光需要の増加などについて協議した。

### 高松で四国観光フォーラムを開催

JN協会は、四国ツーリズム創造機構との共催により3月24日午後2時から高松市で「観光立国フォーラム in 高松」を開催する。180名の参加を予定しており、来賓として香川県知事や高松市長を招く。

### 北海道・北陸・九州新幹線は計画通り整備 国土交通省 観光立国に127億円を計上

国土交通省は昨年12月25日、平成22年度予算を決定したが、このうち主な事業の予算を見ると北海道、北陸、九州整備新幹線の整備事業では国費を前年度と同額の706億円を計上し、事業費の総額は2600億円となった。北海道は新青森・新函館間、北陸新幹線は長野・金沢間、九州は新八代・博多間が整備されるが、未着工区間の北陸新幹線の金沢・敦賀間などは今後調査を行う方針。

観光庁関係の予算は前年度より大幅に増額され、127億円が計上されたが、最近の外国人観光客の訪日は不況などの影響で減少しており、観光庁が目標としている年間1000万人の訪日実現は足踏み状態となっている。航空関係では、羽田空港に4本目の滑走路をつくる再拡張事業や成田空港の整備に力を入れる。

2010年がスタートしました。相変わらず経済不況は続いている中でも、鳩山内閣は観光重視の姿勢を打ち出しています。私ども、観光振興を目指す上で、まさにフォローの風が吹き始めたと言えそうです。今年もJN協会の活動に、ご理解とご支援をお願いします。(JN協会)

## 発展の年を迎えて

JN協会副理事長 須田寛



皆さんあけましておめでとうございます。平成22年は日本の観光にとって大きい節目の年を迎えます。

国内では平城建都千三百年にあたり関西を中心に様々なイベントが予定されていること、又海外では上海で万国博覧会がひらかれること等があります。上海万博は七千万人の来場が予定されており、これを動機に東アジアに観光ブームが起こるといわれています。

このような動きをとり込んで、日本の国際・国内観光をさらに発展させる動機としなければなりません。このため国民の一人ひとりが観光の意味と役割を正しく理解したうえで観光活動に参加すること、即ち全員参加の全「国民観光」を実現する必要があります。JN協会にもその先頭に立って観光への啓蒙活動、観光にかかわる多くの人々・団体の連携協働への橋渡し役としての使命を果たすことが期待されていると思います。全力をあげて「国民観光」実現にむけて頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

## 除夜の鐘の音色

JN協会副理事長 横山善太



新年明けましておめでとうございます。古くても新しい話である。小学校4年生の頃、ラジオで除夜の鐘を聴いた。京都妙心寺の鐘の音色はゴォーンと云う荘重な風ではなく軽やかな調べで子供心に不思議な想いが残った。そして、それから50年程後、妙心寺を訪ねた時、鐘楼の前で案内人から次の様な説明があった。「この鐘は由緒あるものですが古いものですから(1337年創建)罅(ひび)が入り危険なので2-3年前に新しいのに変えたところです。歌人の吉田兼好は妙心寺の鐘の音について“黄金色の妙へなる鐘の音”であると詠んでいます。同じ音色の鐘を作るのに苦労いたしました。」

そうかやはり遠い記憶「不思議な音色との想い」はその通りだったのだと感激する気持であり、さすが歌人ともなると「黄金色」と表現し、華やかな音色を伝えたのだと納得したのである。NHKの「ゆく年、くる年」は昭和25年頃衣替えしたもので、それ以前は「除夜の鐘」と云う番組名で昭和2年迄遡るのである。この番組で妙心寺の鐘は度々登場しており、特に終戦直後はその鐘の澄んだ、透明感のある音色が、平和な時代に適う役割を果たした様である。鐘の音は、それが響く心の音色なのであろうか。

## 観光ポスターのこだわり

高速バス会社の連携

JN協会 北陸支部長 魚住隆彰  
(北陸鉄道株式会社 取締役社長)



このところの景気低迷で高速バス利用者が減少している。需要を掘起こす目的と同時に観光地の新たな魅力を引出すポスターの作成に取り組むことにした。旅行の動機付け、多様化するニーズ、北陸の魅力とは何かなど、各自の思いや意見から始めた。

季節を越える風景の写真に、歴史を感じる簡潔なキャッチコピーを熟慮することとした。ポスターの絵と文がまず目に止まり、心に響かねばならない。会社のロゴは共同運行会社名とともに控えめに掲載することとした。

高速バスはお互いの地域を“Link”して成り立っている。相手会社の広告媒体にのせ協力を得る必要もある。観光の振興、活性化には広域連携が不可欠である。高速バス会社が有するネットワーク力の活用と新たな切り口にチャレンジしていきたい。

## 「今年は四国にとって正念場の年」

JN協会 四国支部長 梅原利之  
(四国ツーリズム創造機構 会長)



明けましておめでとうございます。さて、今年は四国が全国から注目される年になると確信しています。それは、NHKの人気ドラマが四国に集中しているからです。まず昨年からはまった、連続テレビ小説「ウェルかめ」、そして昨年からは来年まで続くスペシャル大河ドラマ「坂の上の雲」、さらに今年の大河ドラマ「龍馬伝」です。

その上香川県では、瀬戸内海の7つの島々を舞台にした、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」が7月19日の海の日から100日間開かれます。今まで知名度が低いと言われてきた四国にとって、全国の人々に四国を知っていただく絶好のチャンスの到来です。時あたかも、昨年7月、約15年間続いてきた「四国観光立県推進協議会」を発展的に解散し、新たに官民一体、全産業参加型の「四国ツーリズム創造機構」が設立されました。観光は内需振興の切り札であり老若男女の雇用を促進し、地方を活性化させる基幹産業です。今年を正念場の年と位置づけ全力を挙げて頑張っていきたいと考えています。



## 東京 電が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

### 苦境のホテル・旅館業界の救済のために 観光庁がイノベーション促進事業

#### 観光庁観光産業課長

鈴木昭久（すずき・あきひさ）氏



神奈川県・横須賀市出身。84年3月東大法学部卒、運輸省（現国土交通省）に入省。鉄道局鉄道企画室長、航空局管制保安部保安企画課長、07年7月総合政策局海洋政策課長を経て、09年7月現職。48歳。

- 観光産業課というのは、08年10月に観光庁が発足してから出来たと思いますが、どのような仕事をしているのでしょうか？

観光部の時にはこの課は無かったです。そのころは旅行業課や旅行振興課などという名前でした。観光に携わる産業、例えば旅行者や旅館業者などの振興を図るために仕事をしています。産業という経済産業省がやるような感じがしますが、国土交通省の中でそうしたことをしています。

- ホテル・旅館業界については円高やインフレーションなどで苦しくて大変だという話を聞いています。

一口にホテル・旅館といっても、いろいろあります。観光庁が面倒を見ているのは帝国ホテルやホテルオークラのような日本ホテル協会に加盟している200軒やホテル整備法で作られた石川県の加賀屋、京都にある柊家、下呂温泉の水明館などの国際観光旅館連盟（国観連）の1200軒、昔の国鉄の協定旅館で作っている日本観光旅館連盟（日観連）の3500軒などが主なものです。このほかに厚生労働省の所管の全国旅館生活衛生同業組合連合会（全旅連）には18000軒が加盟しています。これに簡易宿泊所を加えると86000軒あるといわれています。いずれにしても09年の秋から年末にかけて苦しい状況に追い込まれています。

- そうした中でホテル旅館業の振興策としてはどのような施策をしていますか？

個別の旅館などの救済策はなかなか難しい。地域で客をどう増やしてゆくか、外国人の旅行客をどう増やしてゆくか、です。人材の育成や観光のソフト面の受入れの強化などを行っています。増えている中国からの観光客のために中国語の放送を増やしたり、中国語の表示案内を増やすようなお手伝いをしています。同じ地域で客を取り合うのではなく、温泉街全体で再生してゆくという点でなく面的再生が必要でしょう。

- 観光産業のイノベーション促進事業を進めていると聞いています。どのようなことをしていますか？  
旅館の客室稼働率の向上や業務の共同化・効率化

に関する実証事業を行って、事業の成功例を積み上げていきます。08年度には湯河原温泉旅館協同組合の「今夜は温泉に帰ろうプロジェクト」や青森県・八戸観光コンベンション協会の「朝飯、朝風呂による朝の新規需要創出事業」のほか国際観光旅館連盟（国観連）の「旅館客室効率化・高度化事業」など6事業が採択され実施されてます。09年度もイノベーション事業の募集をしたところ68件の提案がありそのうち14件が採択されました。群馬県・四万温泉協会の「旅館業の地域協働による生産性向上・業態開発事業」のほか房総メンタルヘルスツーリズム推進協議会の「地域資源が心をいやす！メンタルツーリズム事業」などが選ばれました。成果が楽しみです。（聞き手は経済ジャーナリストの阿部和義）

### 世界初の工法による川崎トンネル

昨年11月25日、川崎大師先にある川崎縦貫道の「大師ジャンクション」トンネル工事の現場へ。首都高速道路(株)が施工し平成22年度完成予定。これによって、湾岸道路、アクアラインと産業道路横羽線がつながることになる。10人が参加した。

この工事は、MMSTという世界初の工法で進められている。通常、トンネル工事はシールド工法で行われ、断面を見ると円形になる。見慣れたトンネルの図だ。

これに対して、MMST工法は断面が幅30mの長方形。まず外枠をはめ込み、中の土を取り出したあと、内枠を付ける。その内部がトンネル道路となる仕組み。シールド工法だと、表土からトンネルまでである深度が無いと工事が出来ないが、それだとジャンクションの取り付け口から規定以上の急角度でトンネルに入ることになる。そこで、深度がさほど必要でないMMST工法の初登場となった。

### D滑走路完成で羽田が世界2位の乗降客へ

昨年12月1日、羽田空港D滑走路と新管制塔の見学。松尾理事長はじめ66名が参加。倉富空港長はじめ多くの関係者に、感謝申し上げたい。

D滑走路は羽田4本目の滑走路で、2500m。現在の空港の沖合に建設中。多摩川河口に面する部分は、川の流れを妨げないよう栈橋構造にしている。平成22年10月供用開始の予定。

4本の滑走路により発着回数は、現在の一日30.3万回から40.7万回となり、乗降客数は年9000万人近く、世界第二位となる見込み。

新管制塔（写真）は、高さ115.7mで世界3位（1位は バンコクの132m）。360度見渡せる展望台からは、富士山、東京都内、房総半島、ディズニーランド塔などの景観が素晴らしい。（加納）



## アメリカ・こぼれ話 「人種のるつぼ」

JN協会理事 北村 嵩



多民族国家アメリカを象徴する言葉として「人種のるつぼ」もしくは「サラダボウル」という言葉が使用されることがある。前者は“文化一元主義（モノカルチャリズム）”、すなわち移民たちのアメリカへの同化を求めるものであり、後者は“文化多元主義（マルチカルチャリズム）”、民族の多様性を肯定する考え方で、公民権運動後の1970年代から使われだした呼称である。「人種の坩堝（メルティングポット）」という言葉はイギリスの作家イズレイル・ザングヴィルがアメリカについて書いた戯曲「人種のるつぼ」（1908年初演）から使用されるようになったと言われる。典型的な例が、1920年頃にフォード自動車が安価な労働力として使用していた東欧系の移民に対して行った会社内の英語学校の卒業式である。社長のヘンリー・フォードは移民労働者がアメリカ人になりきることを求めて、仕事の前か後に工場内の英語学校に通わせ、その卒業式を、最もアメリカ的な場所である野球場で行った。

舞台の中央に大きな坩堝を作り、その上に差し渡した板上に教師が長い棒を持って立ち、坩堝の中を掻き回す。坩堝の片側にかけて階段から民族衣装をきた移民の卒業者が登場し坩堝の中に入る。教師がいつとき、棒を動かしながら掻き混ぜる動作をする。しばらくして坩堝の反対側にかけて階段から、坩堝の中で背広に着替えた卒業生たちが星条旗を振りながら降りてくる。下では待っていた教師たちが「君らは何人か？」と聞き、皆がいつせいに「アメリカ人で

す」と答える。

教師がさらに「いや、ポーランド人ではないか？」と聞き返し、「いえ、アメリカ人です」と答えて式が終了し、教師もはじめて笑顔で彼らを歓迎する。国の拡大と経済の発展が労働力の不足を招き、新たな移民を受け入れ続けた結果、先行移民が中流化（社会主流化・メインストリーミング）し、結果として多民族国家アメリカが形成され、「サラダボウル」の社会に変わっていったのである。移民のアメリカ人としての同化を求める「人種のるつぼ」論が優勢な1920年代は、同時にワスプなど先入民族による移民排斥運動も盛んであったが、それぞれの移民たちが持ち込んだ異質の民族文化を尊重し、レタスはレタス、にんじんはにんじんとしての文化的な塊が交じり合っ、多文化の共存を主張する「サラダボウル」説が本格的に有力になった60年代は公民権運動の影響もあって、マイノリティーの各民族が先入民族に対する権利獲得、権利回復を要求する動きが活発になった。



## The report of Rikkyo activities.

### 高尾山へ！！

#### Nuggets of Hospitality 麓 理沙

昨年12月19日、高尾山に行ってきました。今回はベトナム人グループ主催のイベントで、ベトナム人7名、日本人3名というメンバーでの登頂です。当日は天気恵まれ、空気はひんやりと冷たくも日差しは暖かく、登頂日和となりました。

さて、中腹まではリフトにて空気と自然を感じながら登っていきます。惜しくも紅葉シーズンは過ぎてしまいましたが、ところどころに赤、黄色の名残が見られます。リフトを降りるとそこからはゆっくりとおしゃべりを楽しみながら歩いていきます。ベトナムの米を使った手製のおにぎりをほおばりつつ、ベトナム童謡をBGMに山道を登りました。

いよいよ山頂に到着です。この日は天気の良さに加え空気が澄みきっていて、富士山がはっきりと綺麗にみえました。他にも眼下には八王子の町、また遠くには都内の高層ビルまでしっかり見ることができました。

登りはかなり楽しめたということで、帰りは歩いての下山です。傾斜30度はあるのでは？と思えた坂道を、ただひたすら下っていき、息つく間もなく気付いたころにはもう麓まで来ていました。しばらくしても足ががくがくして、今回一番きつかったのでした…。

皆紅葉を見たいということだったので、次回は葉っぱが綺麗な時期に来たいと思います。



### 日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

## JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいた「JAPAN NOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。

今年4月に完成した2009-2010年度版は、日本全国のホテル約100館55,000室の客室に常備されています。



日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって日本の歴史といまを生き生きと伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。

2009-2010年度版も、2010年に遷都1300年を迎える奈良平城京に焦点を当て、日本文化と国家の原点を探

る第1特集と、古代以来の日本人とメディアとのかかわりを図版を中心に紹介する第2特集に加え巻頭インタビュー・ページでは、昨年ノーベル物理学賞を受賞した南部陽一郎氏にご登場いただくという、多彩な内容となっています。1部2000円(送料別)で購入できます。

お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。

電話/FAX 03-3536-1751

### 【会員募集】

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

「世界遺産」物語……

なぜ世界遺産に登録されないのか？

近藤 節夫

世界には人類が大切に保存しなければならない、素晴らしい世界遺産が数え切れないほどある。人類が営々と築いてきた文化遺産、そして地球が創造した自然遺産を併せて、現在890箇所の世界遺産が登録されている。そこを訪ねると人間の叡智と技術、自然界の営みの源流に触れ、心から感動を覚える。

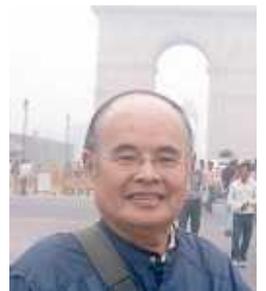
私自身これまでに150箇所の世界遺産を見学したが、その場で圧倒的なスケールに打ちのめされ、立ちすくんだことも再三ならずあった。その場に立つと遙かなる祖先から久遠のメッセージと自然の息吹を感じるような敬虔な気持ちにとらわれる。

しかし、残念ながら世界には世界遺産と同等、否それ以上に価値のある遺産が、未だに登録されないまま、中には人びとに知られることなく忘れ去られてしまうケースもある。ミャンマー（ビルマ）のように、世界遺産条約を締結せず、折角の宝の山を世界へ報せようとししない国策的な事例もあるが、登録要件を充分満たしているにも拘わらず登録されず、「なぜだ？」と首を傾げ、切齒扼腕の思いで見守らざるを得ないケースも数多い。

その中で訪れてみて世界遺産の価値が充分備わり、世界に知らしめるべしと考えている遺産を個人的に5つ挙げるとすれば、

殿（ギリシャ）、ハトシェブスト葬祭殿（エジプト）、エフェソス古代遺跡（トルコ）、ペルガモン遺跡（トルコ）、ナクシェ・ロスタム（イラン）がある。は世界史教科書にも掲載されている。は2世紀に建設されたセルスス図書館からアルカディアン通りを歩き、古代劇場を観てハドリアヌス神殿跡を訪れれば、古代エフェソスの都市計画を偲ばせてくれる。さらに、近くには聖母マリアの生家まである。世界遺産・古代トロイア遺跡を上回る規模である。に至っては、偉大な遺跡の一部が世界遺産となったベルリン博物館島建物内に移築され、古代遺産を略奪された本家である。ペルセポリスから6kmの古代ササン王朝（AD3-7世紀）の都で、アケメネス王朝4代の王墓がある。ゾロアスター教の拝火神殿が堀の中に鎮座して、広い地域にかけて君臨したペルシャ王朝の栄耀栄華を偲ぶことができる。

判断基準が主観的にならざるを得ないが、これら5つのニア世界遺産は、どのリアル世界遺産に比べても優るとも劣らない。いずれも中々難しいアクセスであるが、ものは試しである。ぜひ一度ご自身の五感でしかとご覧いただきたい。



(世界遺産を旅する)

C O L U M N

Dr. マツキ・ミヤザキ通り

インドの世界遺産「タージ・マハール」の上品で美しく、その類稀なる高貴な姿は非の打ち所がない。いくつかの道のりのうち、最も入場者が多いゲートは東門と呼ばれている。生憎東門の前は狭い字路になっていて交通渋滞が激しく車の乗り入れが禁止されている。バスでやってきた観光客は、近くのバス・ターミナルで一旦観光用トロリー車に乗り換えた後、最後の500mほどを歩かなければならない。この幅広い歩行者天国道路には牛車、自転車、歩行者らが満ち溢れ、道端には露天商や物乞いがひしめいている。

嬉しいことに、この世界遺産へのメイン・ストリートに、何と日本人の名前が冠せられているのである。その名を「マツキ・ミヤザキ博士通り」といい、石版に彫られた1.5m x 2mほどの大きな道標が堂々と歩道上に設置され、観光客が立ち止まっては食い入るように見つめている。

しかし、その道路名はガイドブックにはなく、日本人の間ではまったく知られていない。



「マツキ・ミヤザキ博士通り」と記した碑

尋ねてみると「マツキ・ミヤザキ博士」は、インド・アグラ近郊にライ病院を建ててインドのライ病（ハンセン病）撲滅と、ライ病患者治療のために献身的な医療活動に取り組み、広くインド人から慕われ尊敬を集めていたお医者さんだったという。因みに近くのインド人親子に聞いてみたら、「マツキ・ミヤザキ博士」のことは当然のように承知していた。

これだけ世界的に知られる観光地で、尊敬されている誇るべき日本人が過去におられたことが、日本ではほとんど知られていないのはなぜだろうか。インターネットや百科事典で調べてみても、ついぞ頼りになる情報は得られなかった。結局日本人は自分にとって興味のあることしか念頭にはないということになる。日本では、世界で活躍するイチローや石川遼は知られていても、外国で貧民のために献身的な医療活動に励む医師なぞ眼中になく、まったく関心を持たれていないのである。ちょっと気がかりな話である。

白鳥（白衣の医師）は 悲しからずや インドの青、日本の青にも染まず ただよう

(近藤)

## 城下町と観光

## 本州最北端に位置する津軽城

## 養蚕業を進め北の商都として育つ

JN協会参与 長宗我部 友親

弘前藩の初代藩主となった津軽為信は、大浦氏と称して、南部氏の配下にあって、代々青森県の岩木町あたりで勢力を張っていた豪族である。

この大浦一族は次第に勢力を強めて、戦国時代の天正16年(1588年)頃には、南部氏から離れ、津軽の支配者として独立している。

南部氏から独立した為信は秀吉の小田原城攻めにいち早く参戦して、秀吉から津軽の地を正式にもらう。また、近衛家を頼って「杏葉牡丹」の家紋を許されたという。このあたりから為信は津軽氏を名乗るようになった、とされる。

津軽為信は文禄3年(1594年)に居城も大浦から堀越に移す。そして、慶長5年(1600年)には関ヶ原の戦いが起こり、為信は東軍につき、この功で為信は津軽の地で大名となる。そこで為信は津軽平野のほぼ中央である高岡に築城を決める。天守閣を持つ新城は慶長16年(1611年)に完成、城下町もこのころに整

備される。

第4代城主の津軽信政のころに、新田の開発や、山林整備などの産業を育成した。養蚕、製紙業にも力を入れ、城下町は商都としても栄えた。

弘前藩は本州の最北端に位置していたことから、盛岡藩とともに、北海道の蝦夷蜂起に対する備えとしての任務を持っていた。

実際、寛文9年(1669年)に起こったアイヌ民族の蜂起は、北海道の松前藩を直接襲うような勢いを見せた。このため、この事件は松前藩とアイヌ民族という問題を超えて、幕藩体制にも放置できない様相を呈してきていた。

幕府は、弘前、盛岡の両藩に出兵の準備を命じて、松前氏の一族の松前泰広を蝦夷地に向わせて指揮を取らせることになった。

そして、当時の弘前藩主の信政は、この松前氏の動きに合わせて、重臣の杉山吉成に兵を率いさせ、松前氏の指揮下に置いた。これにより蜂起は鎮圧されて、幕府も安堵した。



空から見た弘前市

弘前駅前像



名物の桜に彩られた弘前城

## NEW SPOT

in japan

## 医学と芸術

医とアートの出会いを描くユニークな美術展「医学と芸術展」が東京・六本木の森美術館で開かれている。人間の体や医に関する絵画、イラスト、造形や、医療現場の義手義足、義眼などを集めた。医薬研究に助成する英ウエルカム財団の資料や美術150点のほか、現代美術や日本の古美術作品約30点で、「科学と美を捉え、人間の生と死を問い直す」という。

巨大な心臓がリヤカーに乗せられ廃棄物と一緒に再利用を待つ「リサイクル」は北京在住の白宜洛(パイ・イールオ)の作品だ。南太平洋バヌアツ出身のジル・バルビエはスーパーマンら英雄が「老人ホーム」で生活する姿を造形で表現。ギリシャ生まれのステラークは人工の耳たぶを自分の左腕の皮膚に埋め込んで「腕にある耳」を出品。いずれマイク



巨大な心臓がリヤカーに乗った作品「リサイクル」(右)など

も入れて「聞く腕」を作るという。ほかに「私は自分の脳を運転する」「脳の木」など常軌外れた作品が並ぶ。

レオナルド・ダ・ヴィンチ描く「頭蓋骨の習作」や円山応挙「波上白骨座禅図」、アンディ・ウォーホルの「心臓」などとともに、近世の車椅子、レントゲン機、鉄の肺、鉄製関節模型、弾丸摘出用かんし、膀胱結石切除具、眼科手術具、男性用マスターベーション防止器、貞操帯、妊婦解剖図などリアルな展示は畏怖の念とアートの美意識が入り混じり、新しい感覚表現を呼び起こす。2010年2月28日まで10~22時、無休。火曜17時まで。

(写真・文 林 莊祐)

NPOから提案します

比較優位の観光資源

JAPAN NOW観光情報協会理事 加賀市長 寺前秀一

ジャパンノウ観光情報協会の須田寛副理事長が産業観光に着目した理由は、名古屋を中心とした愛知県が関西地区等に比べて伝統的な観光資源に恵まれないとの認識に基づき、新たな観光資源として産業観光に着目したからでしょう。愛知県はトヨタの自動車産業に代表されるように、ものづくりによる地域づくりが中心の地域と認識されていますが、これは観光産業よりも製造業が比較優位にあるからで、愛知県が観光資源に不足しているからではありません。

東京圏、関西圏に比較すれば伝統的な観光資源は数が少ないかもしれませんが、典型的な観光地と認識されている金沢市を中心とした石川県と比較すると、愛知県には国宝数において、徳川美術館に所蔵されている源氏物語絵巻紙をはじめ9点と、石川県の2点をはるかに凌ぐものとなっています。美術品については、当該地域の美術品取得時の経済力を反映し、かつ流出紛失しなかった偶然によるものです。

なお、実存する人間国宝の数において石川県(9人)は愛知県(1人)をはるかに凌ぐものとなっています。

す。人間国宝の作品自体は観光資源化していないものの、その作品の多くは経済力のある東京等に集積していると予想されます。

加賀藩の支藩・大聖寺藩が奨励した伝統工芸品に山中漆器と九谷焼があります。山中漆器は、歴史、生産額等において輪島漆器を凌駕するものの、輪島漆器は地域ブランド(地域団体商標制度)をいち早く活用するなど観光資源として話題性においては先行しています。このため山中漆器も中小企業庁のJAPANブランド育成支援事業の支援を受けてNUSSHAというブランド化を試みています。古九谷については、東京国立博物館が「伊万里・古九谷様式」と表示していることに対して、専門家から学術的誤りが指摘されています。観光資源としては話題性が重視されることから、邪馬台国論争的に「古九谷・伊万里論争」を学術論争として議論を活発化させることが有効でしょう。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して！！

観光情報紙2010年03月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2010年03月25日。締め切りは03月10日。

イタリア通信 その12 世界最大の「雑貨と食品」市

ミラノの「Artigiano in Fiera」大人気 300万人が訪れる世界最大の「雑貨と食品」市

ミラノ見本市会場というと、メイド・イン・イタリアを担うファッション製品や家具インテリアなどの専門見本市が有名で、出展メーカーと業界パイヤーやインポーターの集う商談の場として世界に知られている。この見本市会場に1年に1回、300万人もの一般市民が押し寄せ、広い会場全体がごったがえしの熱気に包まれる大人気イベントのあることをご存知だろうか。

毎年12月、クリスマス前に開かれる「アルティジャーノ・イン・フィエラ」(職人見本市)で、2009年も12月5日(土曜)から13日(日曜)までの9日間開催され、大好評のうちに閉幕した。

これはイタリアを中心に世界106ヶ国の職人や中小メーカーが参加する「雑貨と食品」展示販売市。1996年に創立され第14回にあたる今年は、総計2775の出展者が



10のパビリオン、総面積14万平米の広大なスペースを埋め尽くした。主催者の話ではこの種の見本市としては世界最大の出展者数を誇るのか。

出展品は家具やインテリア雑貨、陶磁器、織物、小物、洋服、服飾品、ジュエリー・アクセサリー類。今回からは環境関連グッズや設備も加わった。そして人気のイタリアおよび世界各地の食材や特産食品など。スタンドでモノづくりの実演をするところもある。ビジターのお目当ては、会場内に設けられるイタリアの各地の郷土料理や世界各国の民族料理レストラン。今回は実に48の本格的レストランが開業した。

嬉しいことに入場料は無料。開館時間は毎日22:30まで。イタリア館、ヨーロッパ館、世界館と分けられたパビリオンを一つ一つ眺めていくと1日では見て回れないほど盛り沢山だ。年末の一日をお手軽価格でクリスマスギフトを購入したり、珍しい料理やお菓子を試食したりお土産に求めたりと楽しむ人々にぎわった。仕事の後で連れ立って会場に向かうオフィスレディも少なくない。ミラノ中心部から地下鉄で30分程度のミラノ郊外の会場には、期間中往復4ユーロの地下鉄割引切符も販売される。市民の間でも「もう行った?」「混んでいたけれど楽しかった!」というような会話が流れ飛ぶ。最近では、ここに足を伸ばす観光客も増え、ミラノの新しい観光名所になりそうなきおいだ。

ミラノのこのイベントの大成功をみて、首都ローマでも同様の催しがローマ見本市会場で開催され、これもローマっ子が勢押しかけた。

「Arti & Mestieri Expo: Rassegna dell' Artigianato e dell' Enogastronomia」(技と匠のエキスポ: 手工芸品と食品)。工業製品にはない手作り製品のぬくもりやローカルな食品への関心はどこでも強いようだ。

JAPANITALY.COM社

代表取締役 大島悦子 (Etsuko Oshima)

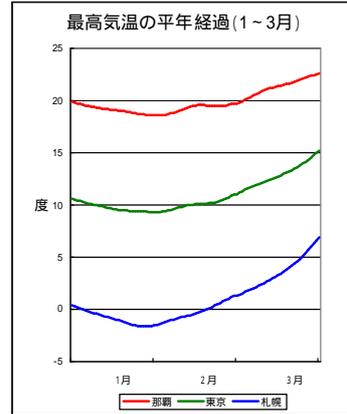
## 気温の上昇

朝晩どころか日中も寒く、春が来るのが待ち遠しい方が多いと思います。

図は1月から3月までの札幌、東京、那覇の平年の最高気温の経過です。

経過曲線を見ると、1月下旬の大寒のころがもっとも気温が低く、札幌では最高気温が氷点下1度5分位です。これは平年の値で、強い寒気が入った日には最高気温が氷点下5度や氷点下8度になることもあります。まさに冷凍庫の中で生活しているような状態です。そのころの那覇は19度くらいで、那覇に住んでいる方はこの気温でも寒いかもかもしれませんが、北国の人からみるとうらやましいくらいの気温です。しかし、気温の上昇は北国や南国に関係なく平等にやってきます。2月初めの立春を過ぎるころから気温は上昇しはじめ、上昇具合は那覇、東京より札幌のほうが大き

くなります。3月21日の春分のころは札幌では4度台になり、東京では13度台、那覇では22度くらいまで上昇します。雪国札幌でも雪解けはいっきに進むころで、東京では早ければ桜の開花の時期です。



寒いのは苦手という方が多いですが、この寒さの期間は草木にとっては冬眠時期であり、その後の気温の上昇でいっきに綺麗な花を咲かせてくれます。この寒さがあるから春の草花が楽しめると言っても過言ではないですね。

日本気象協会 金野雅之

### 会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

- 名誉顧問 : 松山善三(映画監督)  
 理事長 : 松尾道彦(日本海事センター会長、元日本鉄道建設公団総裁)  
 顧問 : 丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング顧問)  
 副理事長 : 白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(株)JALUX特別顧問、大島慎子(筑波学院大学教授)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)  
 支部長 : 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、麗理沙(立教)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本真一(北海道)、梅原利之(四国)、丸森仲吾(東北)、大田哲哉(中国)

### 【団体会員】(2010年1月25日現在)

AGC硝子建材エンジニアリング(株)、(株)朝日ネット、(有)アオバ、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アソデス電気(株)、安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)H K Iアキス、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚ペパレジ、環境テクノ(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)キャントウ、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマサタパシフィックリミテッド、三協立山アルミ(株)、三普旅行社有限公司、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)センインターナショナル、常盤興産ビーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラルリーディングシステム(株)、(株)ダイエーコンサルタツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、TCトレーディング(株)、(株)哲研、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トヨーカネツリソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタツ、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、(財)日本ホテル教育センター、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、ネスレコンフェッショナル(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)パロックジャパンリミテッド、(株)フィールドサービス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、ブラネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルリックス、マイナホールディングス(株)、(株)まるまんフィオーレ、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

### 編集後記

空気中の酸素は「生物の呼吸に深く関与し、その生命維持に必要な物質。高圧または液体にしてボンベに蓄えられる」(三省堂の「大辞林」から)。酸素は私たち人間や生物が生きるために欠かせない物質であるが、このまま地球温暖化や地球の都市化、人口増加、それに伴う自動車交通が地球規模で発展すると、その酸素が不足して配給制になるのではないかと心配だ。車のガソリン・エンジンは気化器(一種の霧吹き)や噴射装置によってガソリンを空気と混合させ、シリンダー気筒に吸い込ませたうえ、これをピストンで圧縮して点火プラグで着火、燃焼しその膨張力をピストンで受けて回転力に変えるわけだ。ガソリンと空気の混合気は爆発圧力が強いので高出力が得られる。

車は完結型の移動手段として便利であるため、都市化の進展に伴って世界の保有台数が急増し、これからも増加するだろう。つまり、自動車は人と同じように大量の空気を必要とし、消費しているわけだ。酸素は空気の組成のうち20.95%を占めているという。素人の浅知恵で恐縮だが「酸素の配給制への不安」は、こんなことを考えた結果である。(白澤)

### 特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

**JAPAN NOW**  
観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13  
 小田急代々木ビル3F  
 電話 03(5304)9500  
 FAX 03(5304)5632  
 E-mail info@japannow.org  
 Home page <http://www.japannow.org>

発行人: 白澤照雄(JN協会事務局長)  
 編集長: 白澤照雄(JN協会事務局長)  
 発行部数: 3000部 主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど